



## 障害者総合支援法とは、どんな法律なのか？

障害者総合支援法は、障害者に対するサービスについて規定していた障害者自立支援法の内容・問題点をふまえて成立した法律です。

平成18年4月に施行された障害者自立支援法は、身体障害、知的障害、精神障害の何れを持つ人でも、共通のしくみにより、共通のサービスが受けられるように定められた法律です。そして、障害者が働いて収入が得られる社会にするために、一般就労へ移行することを目的とした事業である就労支援事業が創設されました。しかし、障害者自立支援法が施行されてみると、障害の度合いに関係なく、本人あるいは家族が原則として費用の1割を負担しなければならないという応益負担が問題となりました。この制度によると、障害の程度が重く、より多くのサービスを利用すればするほど、自己負担額が増えることになり、生活は苦しくなりました。

障害者自立支援法の問題点や批判が多くなっていき、違憲訴訟が提起される事態にも至ったため、国は廃止する方針を決め、障害者自立支援法に代わる新しい制度の構築に向けた整備を行うことになりました。ただし、特に問題とされていた費用負担については平成22年12月の改正で、応益負担から応能負担に変更されました。

そして、平成24年6月、障害者に対する支援をより充実させるために、障害者総合支援法が成立し、平成25年4月に施行されました。

障害者総合支援法では、治療方法が確立していない特殊な疾病を原因とする難病等を障害者の範囲に加えました。それにより、これまでは制度の谷間にいて支援を受けられなかった障害者も、障害福祉サービスを受けることができるようになりました。また、障害の程度に応じて区分してきた「障害程度区分」を、障害の多様な特性その他の心身の状態に必要とされる支援の度合いに応じた「障害支援区分」に改めました。

その他には、重度訪問介護の対象が、重度の肢体不自由者に加え、重度の知的障害者、精神障害者に拡大。共同生活を行う住居でのケアが柔軟にできるよう、共同生活介護（ケアホーム）を共同生活援助（グループホーム）に一元化することなどが実施されています。

（精神保健福祉士 津村 繁晴）





## 新任Drの紹介



### 鬼村 洋太郎 先生（非常勤）

初めまして。本年4月から第1、3土曜日に地域診療クリニックの外来を担当させていただいています。

山口大学医学部を卒業後、30年間精神科医として過ごしてきましたが、そのうち25年間は長門市の三隅病院に勤めていました。昨年4月からは現在の美祢市にある、との園クリニックで地域精神科医療を行っています。猪や鹿、猿が度々出没する山奥ですが、長門、萩、宇部などから患者さんが通院してくださって何とか細々とやっている状況です。

今回、縁があって地域診療クリニックでお手伝いするようになりましたが、これまで田舎の病院でのんびりと診療をしてきた私にとって、このクリニックのシステム化された環境は正直少し戸惑いもあります。患者さんのタイプも田舎とは多少違うようです。しかし、自分にとって大変勉強になる場であることは間違いありません。微力ですが、地域診療クリニックの発展のために尽力したいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。



## 新入職員の紹介

### 病棟スタッフ

#### 岩野 創一郎（急性期病棟・正看護師）

救急病院での勤務を経て、当下関病院に採用していただきました。精神科での勤務は初めてですが、先輩方から親切丁寧に仕事を教えていただいておりますので、楽しく働かせてもらっています。ご期待に少しでも添えるように頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

#### 百合野 真紀江（急性期病棟・正看護師）



#### 中村 英司

（男子回復期病棟・准看護師）

この春、埼玉県より引っ越してまいりました。  
患者様の力になれるよう頑張りたい  
と思います。  
よろしくお願いします。

#### 畑田 雄二（男子回復期病棟・看護補助）

現在、下関看護学校に通っています。趣味はバスケット、バドミントン、スノーボードとドラムでたまにライブを行っています。医療関係の仕事は初めてですが宜しくお願いします。



**末永 拓巳**（男子回復期病棟・看護補助）

私は以前、宇部にある施設で働いていた経験はありますが、病院の勤務は初めてで分からないことも多いです。一所懸命、いろいろな事を覚えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

**藤野 裕依**（男子リハビリ病棟・准看護師）

3月に学校を卒業したばかりで、病院勤務も初めてです。

分からない事も多くあり、迷惑をかけることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

**徳野 優香**（男子リハビリ病棟・看護補助）

准看護師の資格を取得するために看護学校に通いながら働かせていただいています。

私は、人と関わるということが苦手な方でしたが、今、病院で頑張っています。

学校と仕事の両立は大変ですが、諦めずに頑張っていきます。

**上原 愛子**（女子リハビリ病棟・准看護師）

特技は14年続けている卓球です。現在も自分のリフレッシュで体を動かしたり、ボランティアで卓球教室のお手伝いをしています。気になる方は気軽に声を掛けて下さい！（笑）仕事も頑張っていきます！よろしくお願いします。

**田中 美津子**（女子リハビリ病棟・看護補助）

病棟スタッフのみなさんにまだまだご迷惑をお掛けしている状態ですが、嫌な顔をせず親切、丁寧指導してくださり、本当に感謝しています。確実に日々の業務をスムーズにこなせるよう、これからも頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

**鶴永 綾子**（老年期病棟・正看護師）

看護師になり、急性期の内科で主に働いていましたが、12年前体調不良になりそれから自分の看護観が変わりました。好きで病気になる人はいないと思います。看護師として老年期病棟の患者さんの声をしっかり聞いて、関わっていききたいと思っています。

**末永 淳子**（老年期病棟・准看護師）

准看護師、病院での勤務経験がなく、患者さん、職員の方々には日々勉強させてもらっています。一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

**宮地 祐也**（老年期病棟・看護補助）

以前も病院で勤務していましたが、まだまだ分からない事が多くご迷惑をお掛けしますが、1日でも早く仕事に慣れるよう頑張っていきたいと思っています。



## コメディカルスタッフ



### 北野 千絵（作業療法士）

4月より作業療法士として働かせていただいております。担当は老年期病棟です。社会人1年目の私にとって何もかもが新鮮な毎日ですが、元気と笑顔を忘れず精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



### 小川 咲子（心理技術部・臨床心理士）

自然豊かな防府市で生まれ育ち、広島でキャンパスライフを謳歌して、再び山口県へ戻って参りました。

趣味で合唱をしています。社会人1年目で至らないことばかりですが、日々進歩を目標に頑張りたいと思います。



### 鍛冶 理奈（栄養課・管理栄養士）

コーヒーとドーナツが好きです。音楽イベントと美術館、博物館、植物園も好きです。好きなものがたくさんある私ですが「食」を通じて患者さんに寄り添いたいと思います。よろしくお願いします。



### 鈴木 和（精神保健福祉士）

下関という初めての地で、これまでの経験を活かして笑顔で楽しく頑張りたいと思います。皆様、よろしくお願いいたします。

### 宮田 真悟（訪問看護・作業療法士）

3月に学校を卒業し、訪問看護に所属させて頂いております作業療法士の宮田 真悟です。出身は福岡県で、趣味は釣りと映画鑑賞です。まずは1日でも早く仕事に慣れ、皆様の力になれるよう一生懸命頑張ります。



### 吉村 祐太郎（福祉サービス かじくり・精神保健福祉士）

健康診断で初めて肥満と言われ、運動して痩せるように言われました。今年から海響マラソンを目標にランニングを始めています。体力をつけ、一日も早く仕事を覚え、患者さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 新人オリエンテーション 合同研修会

平成 26 年 5 月 17 日（土） レポート発表 13:30 ～ 15:30 懇親会 15:30 ～ 17:30  
下関病院 22 名 萩病院 11 名 計 33 名

五月晴れの空が広がり、初夏の暑さを感じる中、海浜寮にて新入職員を対象とした合同研修会が行われました。約1ヶ月半の新人研修を終えた入職者の表情は、期待と不安に包まれていました。

レポート発表の中には、精神科医療に携わるのが初めてという言葉や、学校を卒業したばかりで社会人として勤務するのも初めてという言葉が聞かれましたが、入職した方々に共通していたのは、「研修は終わっても日々の精進を怠らずに頑張っていきたい」という所信表明でした。初心を忘れることなく、水の木会の一員としての自負を胸に、これから業務に励んでいただきたいと思います。

（教育委員会 松田 拓也）



## 大人の発達障害と音楽療法

九州労災病院 精神科ストレス科 下村 泰人 先生

平成 26 年 5 月 10 日、下関学術講演会にて「大人の発達障害と音楽療法」の題で、九州労災病院 精神科ストレス科の下村泰斗先生をお招きし、講演会を開催しました。

大人の発達障害は、基本的な疾患内容から、下村先生の臨床場面での対応や経験内容の話を交えて、わかりやすくご講演していただきました。

音楽療法では、自己愛的満足をもたらすことができ、身体運動を誘発することができるという説明から、実際に音楽療法を実施していただき、体験することができました。音楽の曲調にあわせ、お互いの肩を叩くことや、新聞紙を破ることなど、私達も楽しみながら行うことができました。

作業療法の場でも、合唱などの音楽活動を実施してきましたが、今回の講演会を機に、音楽を利用して体を動かすことや身近にある物を使用した取り組みなど実施していきたいと考えています。

（作業療法士 田丸 正人）

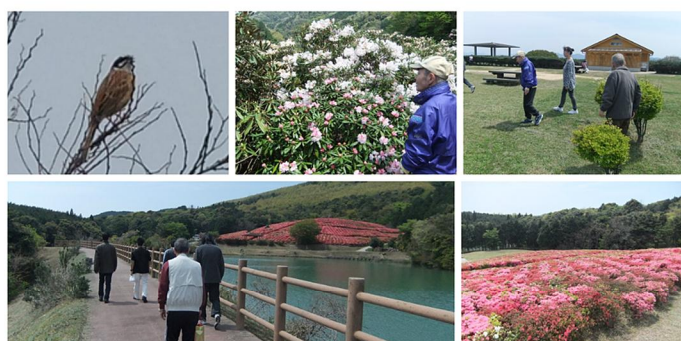




# 行事報告

5月8日、男子病棟の院外活動にて、東行庵とやまぐち県酪の見学に行かせて頂きました。天候が良く、皆さん笑顔で病院を出発し最初に東行庵に向かいました。歴史のある建造物を鑑賞しながら散策を行いました。また、青々とした新緑に囲まれ、患者さん達も季節を感じることができたのではないのでしょうか。

やまぐち県酪では会社の説明や生産ラインの見学、牛乳の試飲があり、興味深そうに質問を行っていました。今後も院外活動を通して、地域との関わりを図っていききたいと思います。（作業療法士 土谷 亜維）



4月24日、この日は天候にも恵まれ、平日にもかかわらず「しゃくなげ花園」には多くの方が来場していました。花が咲いている場所は坂道が長く続くため、患者さんの中には息を切らす方もいましたが、園には様々な色の花が咲いており、患者さんも足を止め興味を示していたようです。花には蜜を求めて虫たちが集まっており、季節感を感じることが出来る一日でした。（作業療法士 石田 晋平）

スタッフでつなげる、趣味のはなし。

連載  
第14回

## つなげよう！ スタッフのわ

近藤 圭佑 作業療法士



作業療法でも行っている活動ですが、『アンデルセン手芸』というペーパークラフトが最近のマブームとなっています。

これは日頃、捨ててしまう広告や空き箱が主に材料です。作り方は広告を巻棒で巻き上げ、長い棒を100本程度作ります。それを空き箱に両面テープで張り付け、木工色でペイントします。完成品は竹や籐で作ったような素敵な小物入れとなり周囲の人々からは「重箱みたいやね」など評判も良いです。

次回は段ボールで作成する家具づくりに挑戦したいと思います。

次回は 竹内 臨床心理士です。



## 編集後記

今号も総合支援法、新入職員の紹介などさまざまな話題をお届けしました。平成26年度がスタートして2ヶ月。新しいスタッフも職場に慣れてきた頃でしょうか。これから暑い夏がやってきます。体調管理を万全に医療機能評価受審に向けて頑張っていきましょう！



（広報委員 領野 亜希子）